

熊本市教育振興基本計画 (令和6～令和9年度)〔熊本市教育大綱〕

豊かな人生とよりよい社会を創造するために、
自ら考え主体的に行動できる人を育む

PLAY
1.

主体的に考え行動する力を育む
教育の推進

PLAY
2.

こども一人ひとりを尊重した
教育の推進

PLAY
3.

最適な教育環境の整備

PLAY
4.

こどものいのちと権利の擁護

PLAY
5.

生涯にわたる学びの提供と
学びの成果をいかす機会の創造

PLAY
6.

市民が身近に親しめる
文化芸術の振興

PLAY
7.

ライフステージに応じた
生涯スポーツの推進

熊本市教育振興基本計画について
詳しくはこちらからご覧ください



熊本市の教育の特色

1

自ら学びに向かう力を 育む教育

「教わる」授業から「学びとる」授業への転換を図るため、児童生徒と職員に一人一台ずつタブレット端末を整備。LTEで教職員やこどもたちがいつでも、どこでも制限なく自由に使える環境を実現。また、電子黒板と実物投影機を全普通教室に1台ずつ設置。ICT支援員をはじめとしたサポート体制も充実。



2

9年間を見通した 質の高い義務教育

小学校全学年に加えて、中学校1年生の全ての学級で35人学級を実施。少人数学級になることで、小学校から中学校への円滑な接続が可能に。また、小学校では教科担任制を推進。令和9年度には、熊本市初となる義務教育学校を開校予定。



3

誰一人取り残さない 特別支援教育

障がいのあるなしに関わらず全ての幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向け、インクルーシブ教育を推進し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を実施。多様な学びの場の整備にも取り組んでおり、小中学校には、通常学級、特別支援学級や通級指導教室を設置。特別支援学校も2校ある。

